

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成24年1月発行

第118号

発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

木村 佐多子



g.

あけましておめでとうございます (広報委員一同)

絵：広報委員 S.Y

CONTENTS

- 新年のあいさつ 1
- ナース章受章者のことば 3~4
- 保健師のコーナー 5
- 助産師のコーナー 5
- 看護師のコーナー 5
- 専門看護師のコーナー(トピックス2012) ... 6
- 地域連携のコーナー 6
- 医療安全数珠つなぎ 7
- 私の〇〇 7
- リレーエッセイ 友達の輪 7
- 禁煙外来の実際 8
- プレゼント 8
- 院長のつぶやき 9
- My Hospital 9
- セカンドレベル教育課程を終えて ... 10
- 施設会員代表者会 10
- フォローアップ・ワークショップ ... 10
- 全国看護セミナー 10
- 災害医療救護訓練 11
- 知って得する看護協会だより 11
- 和歌山県看護協会の動き 12

和歌山県看護協会 会員数

平成24年1月20日現在

会員総数	5,376名
名誉会員	2名
保健師	128名
助産師	194名
看護師	4,673名
准看護師	379名

新年を迎えて

社団法人和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、役員理事、各委員会、会員の皆様のご支援ご協力により、23年度事業も順調に進んでおりますこと深く感謝申し上げます。

今、我が国は、超少子高齢化、長引くデフレ経済、疾病構造の変化、在宅医療推進等、社会保障制度全般に変革を迫られ、看護に関わる全分野で役割と責務が拡大しています。それに加えて昨年は、世界を震撼させた東日本大震災それに続く原発事故、また紀伊半島大水害と今尚多くの方が不自由な生活を強いられており、一日も早い復旧・復興・原発事故収束を強く願っています。会員の皆様には災害支援、義援金と温かいご支援を頂きましたこと改めまして心からお礼申し上げます。

日本看護協会は、昨年4月公益法人に認定され各都道府県看護協会長が地区理事となりました。双方向の情報伝達に努め政策提言に繋げられるよう努めて参ります。そして昨年の日本看護協会通常総会で、久常前会長の後任として本県出身の坂本すが氏が会長に選ばれ、大変心強く嬉しいことでした。

23年度は「看護の専門性を強化結集し多様化する社会の期待に応えます」のスローガンの下6点の重点事業を掲げて取り組んで参りました。

看護職確保定着推進に関しては、新規事業「看護職のワークライフバランス推進ワークショップ」を日本看護協会の指導のもと4施設対象に取り組んでおり、1月12日にその成果発表を予定しています。この事業は「潜在看護職員復職等支援事業」と共に24年度も継続しますので、ご活用頂いて離職防止、看護の質向上に繋げて頂きたいと願っています。同じく県受託の「新人看護職員卒後臨床研修事業」に関しても、24年度は教育担当者・実地指導者対象の研修を考えています。更に昨年、国の「地域医療再生臨時特例交付金事業」に新人離職防止対策として

「高機能シミュレーション技術研修」の申請をしましたところ、昨年末ほぼ満額で認可され、23年度からの開催予定で準備に入っています。尚、今年度は専任教員養成講習会も県受託で開催する方向で県行政と共に準備を進めています。

在宅看護推進に関しては、昨年日本看護協会通常総会で示されたように、看護師職能委員会がⅠ（病院領域）、Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）で新たにスタートし、本県でも委員会の中にⅡ分野の方に参加して頂き、この領域に関する看護の役割・機能充実に向けて検討を始めております。

看護職の労働環境・労働条件の改善に関しては労働局中心に企画委員会が立ち上げられ、11月中旬、医療行政、医師会、病院協会、本協会等関連団体参加の下、第一回が開催され、1月と2月に田辺と和歌山で労働問題等に関する研修が開催予定になっております。

今年は愈々、公益社団法人移行予定の年です。皆様のご意見ご提案をしっかりと受け止めながら、県民の健康維持・増進のために共に頑張る参ります。新看護研修センター建設に関しては、建設推進委員会で検討を重ねており、今年度中に交渉が進められる予定となっています。

会員数につきましては、12月20日現在、5,279名（加入率43%）と各理事、各職能委員会、施設代表者の方々のご協力により昨年比117名の増加となりました。組織強化は協会事業の源であり、加入率50%を目標に役職員と共に尚一層努力して参ります。

今年も、県民の健康づくりを目指して、社会情勢や医療・看護の動向を的確に捉えながら、各関連機関とも連携して、県民や看護職にご活用頂ける魅力ある協会づくりに努めて参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



ナース章を受章して



伊都振興局健康福祉部 山本 紀美代



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。
ご推薦くださいました関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。
仕事を続けられたのは、よき上司や同僚、後輩に恵まれたからと深く感謝いたします。
昭和53年に和歌山県に就職、各保健所勤務の後、平成5年から県立高等看護学院兼で9年間保健師教育に携わり、平成14年から保健所勤務となりました。35年間に保健所保健師の活動はずいぶん変化しましたが、「誰もが暮らしやすい地域づくりを目指した活動」を、これからも後輩の保健師と一緒に頑張っていきたいと考えています。なお一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

和歌山市こども総合支援センター 原 政代



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄に存じます。受章の重みを感じるとともに、同僚、先輩、上司のご支援とご指導の賜物であると感謝いたします。
昭和53年から和歌山市役所の保健師として地域保健福祉活動を33年間経験させていただきました。
その間、少子高齢化や経済情勢の変化から生じた格差社会の課題に対応すべく、先駆的保健活動の取り組みを数多く経験させていただきました。
今後は、これらの経験と公的精神を大切にして、時代の要請に応えるべく保健師の後輩育成に取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程をよろしく申し上げます。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 谷口 紀子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄でございます。ご推薦くださいました関係各位の皆様方に心からお礼申し上げます。
34年という長きに渡り、好きな看護の仕事が続けられたのは、良き先輩や同僚・後輩の皆様との協力と支えがあったおかげと深く感謝いたしております。
医療は日進月歩であり、看護の世界においても同じことが言えます。しかし、どのように変化しても忘れてならないことは、思いやりの心だと思っています。
地域の皆様に信頼され愛される病院をめざして、これからも今回の受賞を励みに一層努力していきたいと思っておりますので、ご指導をよろしくお願い致します。

和歌山県立医科大学附属病院 田中正子



栄えある和歌山県ナース章を賜りましたことは、この上もない喜びであり、身に余る光栄でございます。心から深くお礼申し上げます。このような章を賜ることが出来ましたのも、ひとえにご推挙下さいました関係各位をはじめ、上司、同僚、後輩の皆様方のご尽力とご支援の賜と改めて感謝いたします。
昨年三月には、東日本大震災と大津波が発生し、本県においても台風12号により、多くの方が被災し死傷されました。このような状況の中にあって保健医療福祉に携わる私達が、連携・協働しながら地域医療に尽力することが、専門職の努めであると考えております。
この受章を契機と致しまして、皆様方のご期待に添うことが出来ますよう更に研鑽を重ね、努力して参る所存でございます。
今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

日本赤十字社和歌山医療センター 川口好美



この度、栄ある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。ご推薦くださいました関係各位の方々に深く感謝申し上げます。

私が看護師になりましたのは、私が中学生の時、母が「女性が自立できる職業」として奨めたからでした。私も看護師を一生の仕事として勤めてまいりました。しかし、私が結婚して2人目の子供が生まれた時、育児の為退職を考えていました。病院に保育園が新設され、続けて働くことができるようになりました。3人目も保育園でお世話になり、一度も辞めることなく看護師として38年目を迎えることができました。

今までを振り返りますと、多くのことを学ばせてくださった上司・同僚・後輩・関係者がいました。また、今まで出会った患者様にも励まされ、家族の協力もありました。今後この受章を励みに楽しく、意欲的に働いてまいりますので、ご指導の程宜しく願い申し上げます。

和歌山労災病院看護部外来 寒川秋子



「あなたの看護観は？」看護師として初めて仕事についた時、上司に聞かれ、緊張と胸の高鳴りを抑えながら「私の看護観は“やさしさと、笑顔”です」といった言葉は、つい昨日のようでした。あれから39年の月日が流れていました。

現在、私は外来で患者様の糖尿病療養指導・糖尿病教室・診察介助・処置にと多忙な日々を送っています。これからも初心を忘れることなく、やさしさ・笑顔に安全を常に配慮しながら日々まい進して行くつもりです。

この度、栄えある和歌山県ナース章を頂くことができたのは、皆様方のご尽力のたまものと深く感謝しています。ありがとうございました。

和歌山県立こころの医療センター 竹内安則



この度、栄えある和歌山県ナース章を頂き、身に余る光栄でございます。ご推薦いただきました関係者の皆様方に心からお礼を申し上げます。

看護師を志して今まで38年間、看護師として働いてこられたのもご指導下さった先輩や同僚、そして良き後輩の皆様のおかげとこころより感謝いたしております。

医療の現場も時代と共に刻々と変化しています。その中で看護の果たすべき役割を考え、なお一層努力していきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。

あなたの病院や職場での活動や
取り組みについて黒潮で紹介しませんか？

記事募集！

採用された方には、粗品を
進呈させていただきます。

自薦、他薦は問いません。

- サークル活動や病院コンサート
- リハビリで絵手紙作成など
- 催物など
- 看護の日 各誌所で出し物、劇、歌を歌うなど
- 特殊な委員会活動報告など

例えば



保健師のコーナー

保健師職能委員 山崎 静香



保健師歴8年、他の委員の方々
に多くのことを教えて頂きなが
ら、今年度より保健師職能委員
をさせていただいております。

職能活動を通じ、他職域の保
健師と情報交換や悩みを共有す
ることができるだけでなく、日々
感じる事が出来なかった事柄

を多数経験することができ、自身の視野が広がりました。
委員として活動させていただく機会を与えていただけ
たことに感謝します。

近年、保健師業務の多様化や職員数の削減、分散配置
等により保健師がこれまでに培ってきた知識や技術を伝
承することや、保健師の専門である地域活動の展開が難
しい状況です。加えて、ベテラン保健師の退職が継続す

る中、次期リーダーとしての中堅保健師の人材育成の必
要性が問われていますが、組織的な体制が構築されてい
る市町村は少ないです。また、保助看法の改正による保
健師教育の多様化や処遇困難事例の増加、業務量の増大
等、保健師を取り巻く就労環境は様々な問題が山積みし
ています。

このような状況の中で、保健師の専門性を発揮し、皆
様がイキイキと元気に活動できるよう、様々な問題に対
する要望の集約や魅力ある研修等の開催、他職域の保健
師とのネットワーク体制の構築に向けて職能委員として
頑張っていきたいと考えております。皆様も協会活動に
参加して悩みを共有し、保健師のこれからを一緒に考え
てみませんか。色んなことを吸収できる機会になると思
いますよ。

助産師のコーナー

助産師職能委員 和所 直美

昨年度より、助産師職能委員をさせていただき、本年
で2年目となります。委員会に参加することで様々な意
見交換をしたり、他施設の現状や活動内容を知りうるこ
とが出来たりと、大変貴重な機会となっています。

今年度の活動内容のひとつとして、助産外来について
取り組んでいます。助産師が妊娠中から一貫して健診に
携わり、妊婦本人がその家族と共に快適な妊娠生活と出
産について考え、信頼関係を築いた上で女性の主体的な
出産を実現するためにも、助産外来での助産師の役割は
大変重要です。現在助産外来の運営されている施設がま
だ少数であり、人材不足など抱える問題が多様です。和

歌山県内における助産外来の活動状況や現状を適切に把
握するためにアンケート調査を実施し、今後の助産外来
や院内助産のシステム推進につなげていければと考えて
います。

また、病院勤務をしていると、地域における活動が不
十分でかけ離れがちとなってしまいます。昨年は、職能
委員として思春期教育に携わることができ、改めて地域
での活動の重要性を実感し、命の大切さを教育していく
大切さも再認識しました。

あと少しの任期となりましたが、精一杯頑張ってお努
めたいと思います。

看護師のコーナー

看護師職能委員 千畑 仁美



看護師職能委員を務めさせて
いただき、2年目が終わろうと
しています。引き受ける際、職
能委員はということをするの
か、私に務まるのだろうかと不
安で一杯でした。初めの頃は委
員会活動に参加していながら話
し合っている内容が理解できず、

先輩方に引っ張ってもらいました。しかし、2年目からは、
一連の流れがだいたい理解でき、会議や活動を通してい
ろんな経験や学びになっています。また、他施設の方々と
話すことで、職場の情報交換ができたりと緊張しながら
も自分にプラスになることが多く、良い機会ともなっ

ています。

活動計画での「専門看護師・認定看護師交流会」が、
22年度は東日本大震災で中止になりましたが今年度は、
11月19日(土)に開催され約半数の認定看護師の方々
の参加があり、交流会では認定看護師の連携と活動につ
いてというテーマでグループワークを行い、各施設での
活動内容や役割について知ることができました。

その中での合同ミーティング会では「専門看護師・認
定看護師交流会の運営について」「メーリングリストの作
成について」活発な意見が出され、良い交流の機会とな
りました。

残りの期間、職能委員の活動を頑張っていきたいと思
います。

緩和ケアについて

紀和病院 専門看護師 森田 郁代



私は2007年にがん看護専門看護師の認定を受けました。現在は、緩和ケア病棟の師長としての役割も担っております。

近年、高齢者の増加とともに高齢のがん患者さんとお会いすることが多くなりました。当院の緩和ケア病棟でも、入院患者さんの平均年齢が90歳という時期がありました。高齢のがん患者さんが、がんが発見された時には積極的な治療を受けることができない、ご家族の希望で告知をされていない、がんが原因ではなく、本来の身体的・認知的機能の低下から自宅で過ごせなくなる、などの状況に多々遭遇します。

その中でも、認知症やせん妄の合併は臨床で難渋するところではないでしょうか。

高齢者では若年者に比べてせん妄発症のリスクは4倍以上という報告があります。また、ばらつきはあるものの、65歳以上の認知症患者の22～89%にせん妄がみられたという報告もあります。

緩和ケアは、その人らしさを尊重したかかわりを大切

にします。認知症やせん妄を合併したがん患者さんとのかかわりにおいても然りです。「その人らしさを尊重する」とは、よく耳にする文言ですが、本当のところ、「その人らしさって何だろう?」とあらためて考えさせられるのが、認知症やせん妄を合併した高齢のがん患者さんとのかかわりだと思えます。一見、意味不明な言動であっても、そこには何らかの感情や意思のサインが込められていることが多いのではないかと思います。

自分の意思を他者に伝えることが困難な高齢のがん患者さんであっても、看護師は患者さんを知ろうとし続け、そして日常生活の援助をしっかりと行い、安心して生活できる場を提供することこそが、緩和ケアの基本、すなわち看護の基本であると実感しています。

今後、がん看護と高齢者への看護・認知症看護とは深く結びついていく領域だと思えます。これらの領域に対する知識や経験を深め、専門看護師としての役割も果たしていきたいと思えます。

地域連携のコーナー

自施設における地域医療連携室の活動や最新情報

社会保険紀南病院 地域医療連携室 山口 佐和美



当院の地域医療連携室は、平成14年4月に開設されました。平成17年5月に新病院へ移転し、現在は、病院の玄関左側に設けています。平成18年8月には「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、翌年の4月からがん相談支援センターとしての役割も担っています。室長(消化器内科部長兼務)、医療ソーシャルワーカー3名、事務員2名、退院調整看護主任、緩和ケア専従看護師、臨床心理士と看護師長の私が勤務しています。

地域医療連携室の業務は前方連携、院内連携、後方連携と相談業務、市民健康講座の運営、セカンドオピニオン外来受付等行っています。今年の10月にはがんサロン「ふれあい」を開設し事務局を担当しています。

医療ソーシャルワーカーと看護師が受ける相談件数は平均475件/月、窓口相談は平均115件/月です。がん相談は平均43件/月です。相談に訪れた方の思いを受け止め、必要時は関係部署と連携し、問題解決できるよう努めています。

退院支援は、医療ソーシャルワーカーと退院調整看護主任が協同行っています。主治医、病棟看護師と連携を持ち、患者さんご家族の思いに耳を傾け、意向に沿った退院支援を目指しています。緩和ケアが必要な患者さんの退院時には緩和ケア専従看護師とも情報交換し、在宅に向けての検討等しています。教育については、昨年は地域連携室が中心になり、「患者・家族が安心して退院できるように退院支援の為に知識と技術を身につける。各部署のケアの向上」を目的に院内、外から講師を招き6回シリーズの研修を開催し好評でした。今年度も継続する予定です。

地域医療連携室は、紹介患者さんの受診、入院受け入れ、院内連携、退院支援の後方連携という地域と病院をつなぐ「窓口」であるため、私たちの対応が病院のイメージにつながります。患者さん、ご家族や、地域医療・福祉関係者の方々が利用しやすい信頼される連携室であり続けるよう努力したいと思います。

医療安全

数珠つなぎ

橋本市民病院

医療安全管理室 医療安全管理者

森下里美



こんにちは、橋本市民病院の医療安全管理者をしている森下です。橋本市民病院は、大阪府と奈良の県境の高台にあり、山に囲まれた素晴らしい景色が見える病院です。

今年度4月から医療安全管理室が設置され専従で医療安全に取り組んでおります。医療安全とは言い続けることと以前に研修で言われました。最初は何を言い続けるのかと思っていましたが、平成19年から医療安全に関わるようになって5年を迎え、インシデント報告を受けるたびに「人は忘れる動物なので確認をしないとミスをするよ」「誰かれなく信じているとミ

スをするよ」「業務に関して、最終施行者である以上は人を信じるのではなく最終確認を行わないとミスをするよ」と口がはれるほど毎日毎日言い続けることであると最近つくづく思っています。医師以外の医療スタッフの業務拡大が叫ばれる今日、最終施行時の確認の大切さについてサブミナル効果のごとく今後も言い続けていきたいと思えます。

次回号に紹介させていただく方は
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院
堀江 佳代子様です

私の



《感謝の気持ち》

医療法人 共栄会 名手病院 看護部長 並松睦世



私は、3年前に念のためにと受けた検査で、突然進行性の直腸がんが診断されました。看護職でありながらと後悔しました。

しかし、1日でも長く生きていきたいと思い、どんな治療にも耐えていこうと決心し、また残された家族に出来る限り迷惑がかからないようにと、お葬式や遺影の準備を始めました。時間は限られていると必死でしたが、少しずつ病気の受け入れをして前向きに進んでいる自分に驚きました。そんな一週間後、主治医よ

り組織診断の結果は腸管子宮内膜症で悪性ではなかったと告げられました。

たった一週間ですが、悩み苦しんだことはとても貴重な体験でした。今後の患者の心のケアに、是非活かしていきたいと思えます。そして忙しい中でも、少し自分をいたわる気持ちが大切であると痛感しました。

そして今、毎日元気で仕事ができることに感謝しています。

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.39

訪問看護ステーション南紀 鈴木和美

看護師になって、十ウン年。病院看護師を経て、現在は、訪問看護師として、日々奮闘中。

在宅では、いろんな方との出会いが多く、いろんな出来事にびっくりさせられっぱなしです。在宅では、お家のパワーで利用者様が元気になったりする事があるので、訪問看護はやめられません。

私個人としては、家族の協力なしではあり得ない程、家族にはお世話になっています。これからも、家事に?! 仕事に頑張っていきます。



今回は、訪問看護ステーションエンゼル 鬼塚幸幼さんをご紹介します。



あなたもチャレンジしてみませんか！～ 禁煙外来の実際 ～

日本赤十字社和歌山医療センター呼吸器内科・禁煙外来 池上 達義

禁煙方法もいろいろです。「禁煙なんて気合よ」といってパッチも使わず禁煙した豪快な師長さんもいましたが、普通なかなかそうはいきません。ニコチンパッチやチャンピックスは離脱症状を効果的に軽減し、比較的楽にやめられます。体重増加も最小限に抑えられます。

ヘビースモーカーだったドクターがあっさり禁煙して、ちょっとしたブームになったことがありました。もちろん薬ではうまくいかない人もいます。3年

越しの禁煙トライでついに成功した助産師さん。あと数本がやめられず何回も失敗を繰り返していましたが、その度に思い直してチャレンジ。最後はすっきりした笑顔で、「先生、禁煙したわ」といって来られました。失礼ながら驚いていた私に「一本の重みに気づいたの。そしたら、もう吸わなくてもいいんだなあって」悟りのような禁煙でした。禁煙の秘訣は諦めないこと、といつか聞いた言葉を思い出しました。あなたもチャレンジしてみませんか。

本物の豊かさ やさしく包み込まれる 楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムートンアリエス40。1cmに5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。



東洋羽毛(株)より、
看護活動に
お役立てくださいと
70万円の寄付を
いただきました。



東洋羽毛関西販売株式会社

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12 和歌山営業所 〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
☎0120-88-2104 ☎0120-32-7766
ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

第9回

プレゼント!

前回の当選確率は120%でした!
みなさま、どしどし応募してください。

「羽毛まくら」
を
2名様に!

どちらか1つ
当たります!

「図書券」
1,000円分を
5名様に!

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、2月27日(月)までにお送り下さい。(消印有効・1人1通のみ)
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先 〒641-0036 和歌山市西浜1014-27 和歌山県看護協会 「1月号プレゼント」係

プレゼント
当選者の
声

- 117号の専門看護師の活躍にすごく共感しました。そして勉強になりましたのでさっそく本も買って毎日すこしずつ読む事が楽しいです。
- 和歌山県はどこ施設も人員不足です。ふれあい看護体験を通じてでも看護師になりたい人が一人でも多くなればいいなあと思います。
- 地域連携のコーナーを興味深く読ませていただきました。

院長のつぶやき

白浜はまゆう病院では、平成 23 年度より和歌山県看護協会主催の「ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」に取り組んでいます。その取り組みの中から「組織への愛着、病院理念・ミッションの理解と共感的行動」ということで院長から月 1 回スタッフに向けて院内メールを発信しています。今回発信のメールを掲載いたします。



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

ミッション（組織の存在理由）

1. 地域に根ざした医療機関として、予防から看取りまでの包括的な地域医療と福祉を提供する。
2. 思いやりを持ち、チーム医療を通して質の高い医療を実現する。



皆仲良く目標を持って楽しく仕事をしましょう。
部署も個人も目標を持たないと情性に陥り墮落を招き、
仕事が楽しくなくなります。

スポーツ選手や研究者が生き活きと見えるのは記録の更新や
仮説の証明といった明確な目標に向かっていているからでしょう。
小さなものでいいのです。
それに向かって前向きにがんばりましょう。

“えっ？情性、墮落。よく言うよって？ あそう言う勿れ。
ワシ自身にも言い聞かせてるんやから”。

My Hospital

さいとうクリニック



さいとうクリニック 井戸向 薫

海南市街地のはずれ、重根の住宅地に開業して5年が過ぎました。最初は、周囲に家が少なく、開拓された土地にポツンとオレンジ色の屋根のクリニック、近くに「とれたて広場」という大型店舗がオープンしました。今は、少しずつ家も建ち、道路整備も進んできています。

耳鼻科は、小学生以下の子供達と高齢の患者さんが多いという特徴があります。子供達は、嫌な事や痛い事はよく覚えているので、待ち合いのプレイルームにDVDをつけ、おもちゃを置いています。待ち時間に少しでも楽しんでもらえたら嬉しいです。

診察中に、モニターを通して耳・鼻・喉の中が見てもらえるので説明しやすいです。また処置中も退屈しないようDVDをつけています。

七夕やハロウィンやクリスマスと季節に応じた診察をし、アットホームなクリニックを目指しています。

クリスマスの季節がやってきました。クリニックには、大きなクリスマスツリーを飾り、窓や壁にサンタやトナカイの飾り物をしたり、外壁にイルミネーション、プレイルームには風船を飾り、患者さんの癒しの空間になればと思っています。スタッフも癒されています(笑)。クリスマス診察日、サンタの格好で診察している先生はサンタそっくり!? スタッフサンタもかわいく、優しいです。子供たちに気持ちばかりのプレゼントと風船を手渡し、喜んで頂けました。今後ともさいとうクリニックをよろしく願います。



残暑の厳しい9月1日、180時間(31日間)のセカンドレベル教育課程が始まり、秋を感じる余裕のないまま、12月15日無事閉講式を終えることが出来ました。

開講式の日、緊張と不安の中で自分の席に着いたことが、昨日のこのようになります。研修が進むにつれ、今年度の受講生24名のチームワークが出来、また、毎回すばらしい講師に出会えることで、研修日が待ち遠しく思える程充実した日々でした。受講生24名は、それぞれに目標を持って望んだ研修です。研修を終えた今は、多くの学びを得たこと、180時間を頑張れたという達成感に、きっと満足していることでしょう。今後は、ここで出会えた24名のネットワークと研修で得た知識を活かし、看護サービスの質向上に向け、看護管理者としての責務に励みたいと思います。

ファーストレベルを終了された会員の皆様、ぜひセカンドレベルへお進み下さい。一歳でも若いうちに……

平成23年度施設会員代表者会開催

平成23年11月3日(木)施設会員代表者会を開催。午前中は木村会長より、日本看護協会理事会報告と和歌山県看護協会の動きについて説明があり、その後、グループに分かれ日本看護協会から出されている「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン(仮称)」に対する意見交換が行われました。

午後からは、参加者を代表者だけでなく責任者に拡大し、日本看護協会会長 坂本すが先生をお迎えしてご講演いただきました。講演は「日本看護協会の動向を知り今後の看護管理に活かす」というテーマで、日本看護協会が目指している事や重点事業、医療・介護を取り巻く現状、看護管理者に求められるもの等について熱く語られ、186名の参

加者に力強いエールを送っていただきました。

参加者からは「先生の講義を何回か聞きましたが、毎回感じるのは話のテンポが良く“パワー”“エネルギー”をもらいました頑張ろうという気にさせる方です」「坂本すが様が会長になられたことで日本看護協会が身近に感じられるようになりました。協会の今後の方向性を分かりやすく説明していただき大変よく分かりました」等の感想が寄せられました。



フォローアップ・ワークショップ開催

平成23年度、和歌山県看護協会では日本看護協会と協働で「看護職がいきいきと働き続けられる職場作り」を目指しWLB推進ワークショップに取り組んでまいりました。

平成23年8月10日、11日2日間、4施設参加のもとワークショップを開催しアクションプランを作成致しました。そのアクションプランに基づき、4ヶ月間自施設において取り組みを行いました。その4ヶ月間の取り組みの成果(推

進体制作り、アクションプランの実施と評価、4ヶ月間の振り返り、次年度の取り組み)等を、平成24年1月12日(木)開催のフォローアップ・ワークショップにおいて発表していただきました。



平成23年度全国看護セミナー報告

「目からウロコの臨床倫理への取り組み方」の研修に参加して

私は、院内の倫理委員会メンバーとして臨床倫理に関わっています。委員会に参加していく中で、事例にぶつかればぶつかるほど、「一体倫理ってなんなんやろ?」「どういう風にとらえたらいいんやろ?」と暗中模索状態でした。

そんな時、日本看護協会出版会の研修一覧に「目からウロコの～」を発見し、自分の中のモヤモヤした部分が解消できることを祈って、この研修に参加しました。板井先生のお話は、まさに私のモヤモヤを吹き飛ばしてくれる、現場をわかっているからこそその講義でした。兵庫県出身の先生のお話は、関西芸人魂が宿っているかのごとく、聞くものを引き付ける魅力あるお話で、大変わかりやすく私の悶々とした気持ちを取り払ってくれました。

臨床倫理は、日常の医療・看護の中に必ず潜んでいるもので、委員会での検討にまでは至らずとも、現場ではたえず直面するものです。「死にたい」と言う訴えの裏側に潜む本当の理由を追求し、分析する技量が必要とされます。また、現場で看護をしていると、ついつい「同情」と「共感」の境目がわからなくなってしまう事があり、その患者さんに多く関われば関わるほど(知れば知るほど)客観的な関わりをしているつもりでも、(自分では「共感」のつもりでも)実は「同情」的意識が先にたっていることが多いことに気付きました。

チームでの関わり・情報の共有、そしてその情報の奥に潜む真実をいかに引き出し分析するかが本当の医療・看護であると再認識した、とても充実した研修でした。



今回参加させていただいた災害医療救護訓練(～災害時の大量傷病者発生時の初動期における医療救護の確保を目指して～)は御坊保健医療圏健康危機管理協議会主催で、参加施設が28機関、参加人員約450人という大掛かりな訓練であった。私たちは現場救護所を担当し、トリアージや救急処置に携わったことで大量傷病者が発生した時の対応を学ぶことができた。また、地域の各機関と顔の見える関係を作ることの重要性を知ることができた。

KANGOSHISHOKUNOUIINKAI

知って得する看護協会だより

第1号



●発行責任者／看護師職能委員長 東 直子 ●編集／看護師職能委員会

あなたのために、できること あなたに、できること

初めまして、新米ナースの協子です。先輩に勧められて看護協会に入会しました。
看護協会ってどんなことをしているの？ 私と一緒に学んでいきましょう
職場には慣れてきたけれど、まだまだわからないことがたくさんあります。
働きながら学習を続けるにはどうすればいいのでしょうか？

看護協会では、生涯教育をおこなっています

- ① 資格認定教育 …… 資格認定にかかわる教育内容の研修
- ② ステップアップ教育 … 自らの能力開発を進められるための継続的・系統的な教育内容の研修
- ③ リフレッシュ研修 …… 新たな情報、知識および技術を習得できる教育内容の研修
- ④ 特別企画内容の研修 …… 協会の重点事業、診療報酬・介護報酬の算定要件などに関連する教育内容の研修

日本看護協会には、奨学金制度があります

「看護師学校養成所2年課程(通信制)」進学者

「看護系大学院生」

「認定看護師教育課程受講者」

など

協子の
つぶやき

積極的に研修に参加して、
早く一人前の看護師になりたいな…

この意味知ってる？
しよしかんてつ
“初志貫徹”

和歌山県看護協会の動き

平成23年度第6回理事会

開催日時：平成23年12月2日（金）13:30～17:00
会場：B室

報告事項

1. 日本看護協会等関連会議報告
 - 1) 日本看護協会理事会・法人会員会報告
 - 2) 地区別職能委員長会報告
 - 3) 社会経済福祉担当者会議報告
2. 事業進捗状況（各担当理事から）
 - 1) 各委員会
 - 2) 県委託事業
 - 3) 公益法人移行に向けての進捗状況
 - 4) 看護研修センター建設推進事業に関すること
 - 5) 監査報告
3. その他
 - 1) 会員数について
 - 2) 県内関連団体会議参加報告

- 3) 県ナース章受賞者について
- 4) ハヤヨミ 72, 73, 74
- 5) その他

協議事項

1. 平成24年度事業計画に向けての提案・要望（案）について
2. 再入会金について
3. 災害支援ナース登録申請について
4. 平成25年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について
5. 紀伊半島大水害における義援金とその配分について
6. その他

新たな公益社団法人への移行に向けて（報告）

平成24年4月 公益社団法人への移行を目指し鋭意取り組んでいるところです。
（申請のスケジュールについて）

平成23年12月	指定様式による電子申請
平成24年1月	和歌山県公益認定審議会における審査
2月	和歌山県公益認定審議会の県への答申
3月	和歌山県の認定
4月1日	公益社団法人登記 新法人へ移行

平成23年度知事とコ・メディカル及び病院協会長との懇談会

平成23年11月10日（木）19時より知事との懇談会が開催された。参加団体は、和歌山県病院協会及びコ・メディカル団体である和歌山県看護協会を含む8団体であった。

団体の概要や課題について、各代表者から仁坂知事に説明された。和歌山県看護協会木村会長は、看護職の確保・定着対策推進事業のWLB推進ワークショップ事業及び災害支援ナースの活動等について説明した。仁坂知事は各団体の説明に対し、質問や保健医療福祉に関する県での取り組みなど話され、21時閉会となった。



平成25年度日本看護協会代議員の公募について

和歌山県看護協会では、現時点で6名の代議員・6名の予備代議員を予定しております。会員の代表として会員の意見が反映できる方を公募いたします。立候補される方は、平成24年3月末までに看護協会にご連絡くださいますようお願い致します。代議員・予備代議員として事前研修に出席、会員への報告ができる人を希望致します。

尚、117号に於いて平成24年度役員・委員改選立候補につきましては、2月末日で締切とさせていただきます。

第5回看護研修センター建設推進委員会報告

委員長 中林 正良

【内容】

日時：平成23年11月28日

1. トランスコスモス研修施設の公募状況は、現在のところ様子が分かっていません。
6ヶ月の公募期間からすれば期限が近づいています。今後、時期をみて協会から連絡をとって頂くことになりました。
2. 今後、効果的な建設推進を行うために、ワーキンググループを設置することになりました。
部会ならびにワーキングメンバーを協議し、（案）として理事会へ報告をすることと致しました。